



お江戸舟遊び瓦版 1065号

水彩都市江東　　こころ美しい日本の再生　　安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会　　江東区千田 13-10

市民型選挙 東京 15 区衆議院選挙

江東区政への要求運動を進めてきた「市民と政治をつなぐ江東市民連合」、「江東区政を考える会」が23年12月の江東区長選挙、24年4月の衆議院補欠選挙に続いて、選挙前日まで野党共闘を目指したがままならなかった。前回の区長選、衆院補選では野党統一ができ、酒井氏が出馬するも区長選では負けたが、衆議院補選では勝利を勝ち取っている。

今回の選挙では、自民党からは大空こうき氏、共産党からは小堤東氏、無所属の須藤元気氏、金澤ゆい氏、立憲民主党からは酒井なつみ氏の5人が出馬。

第 50 回衆議院総選挙東京第 15 区選挙マルシェ KOTO

日時：10月13日 17:00～19:30

所：もんなががっちゃん 's CAFE&SPACE

主催：選挙マルシェ KOTO 実行委員会

突然10月27日に決まった衆議院選挙。予定候補者の生の声を聞きたいと、特定の政党に偏らず「批判や否定ではなく、相手の話を聴き語り合う場」が誕生。全員参加で自己紹介、国政、区民との繋がりなどの語りの後に一番大切な公約を話された。

一番大切な公約

大空：政治不信の江東区から新しい日本をつくる。

金澤：民間の当り前を江東区に、区政に

小堤：一日7時間、35時間労働日本をつくる

酒井：まっとうな政治、防災対策

須藤：失われた30年を取り戻し、日本を変える

選挙運動

10月15日告示、10月27日投票の選挙戦が始まった。ボランティアとして参加した酒井菜摘選挙事務所で、ポスター張り、ビラへの証紙張り、街宣などへ参加した。事務所の主役は、選挙の為書ではなく、お母さん仲間の寄せ書きが印象的だった。お母さん仲間の大きな参加力を痛感した。



最後のお願い

- ・ 自民党の大空氏には自民党選対委員長小泉進次郎氏が3度も応援に来られ、石破総裁は最後のお願いをされるなど全力投入の感があったが、酒井氏は事務所に近い地下鉄木場駅で最後に。



選挙の結果

開票当日午後12時近くになっても、なかなか結果が見えなかったが、テレビ放送では候補3人が同数でのリードが続き、12時過ぎにやっと酒井氏の当確、歓声に。



候補者名	得票数
酒井なつみ	66,791
須藤元気	65,666
大空こうき	62,771
金澤ゆい	32,442
小堤東	15,049

酒井得票推移

選挙	得票数
23.12 区長選	34,292
24.4 衆院補選	49,476
24.10 衆院選	66,791

メディアの記事

毎日新聞が選挙後、「接戦でも『時短』ママの葛藤：選挙イヤなの……小1長女の涙」を書いた。選挙になると一緒に過ごす時間が少なくなることを嘆いた長女のために、選挙期間中、街頭演説は午前8時～午後8時までとなっているが、酒井氏は誰よりも遅く駅に立ち、誰よりも早く家に帰るようにした。酒井氏は言う。「朝から夜まで続く選挙活動できないと思わせてしまっていることが一番の大問題。自分がロールモデルになって政治の文化を変えたい」と。

衆議院選挙後の情勢？

衆議院選挙は、自公政権が過半数233を割る215、立憲野党を含む野党系が過半数になった。国民民主党が選挙前の4倍の28と大躍進し、日本維新の会、公明党が減少、れいわが多くなった。裏金問題が多かった自民党の旧安倍派は1/3に減少した。

今回の選挙は、新聞赤旗のパーティー券・裏金や統一教問題から始まり、投票日直前の2000万円問題のスクープが大きな要因だった感がある。特に、2000万円問題は自公政権に大きな影響だった感がある。自民党改革を主張し総裁になった石破氏が総裁になると同時に、旧来の体質に逆戻りした感が更に大きな要因ではないかと思われる。今後の政治運営が気にならざるを得ない。

メディアによると、大敗した石破総理を引きずり降ろそうとする自民党内の動きは少なく、石破首相は躍進した国民民主党とのパーシャル連合で対処しようとしている感がある。対する野党の立憲民主党は、維新や国民民主党と共闘していきたいと考えているようだ。躍進した立憲民主党も3年前の比例獲得数約1720万票から150万票も減少した。今回の選挙で、今までの投票獲得数に変動が見られ、既存政党の選挙戦術の抜本的見直しが迫られている。

政党名	自民	公明	立民	維新	共産	国民	れいわ	社民	参政	保守	無
議席数	191	24	148	38	8	28	9	1	3	3	12

所感： 市民型選挙も数年を経て、半年前から当選者を出すことができ、大きな一歩となった感がある。選挙マルシェも地元で始まり、有権者に候補者が直接触れることができる場も生まれた。

世界最高度に幸福な国デンマークや北欧では小学生時代から民主主義教育を行い、6年生ではデモまで教えているという。一人ひとりの市民が自分の意見を言える平和な民主主義国を祈念したい。（文責 中瀬）

